

本冊子のねらい

『わたしが選んだこの一冊』2015年版をこれから河合塾で学ぼうとするみなさんに、河合文化教育研究所からお届けします。

みなさんにこの冊子をお届けするのは、「大学受験」という人生の大きな関門を突破するには、当面の受験への取り組み方や知識の修得が大切であるばかりではなく、「人生とは何か」を考える強靱な思考力や、自分のなかの計り知れない潜在能力を掘り起こしてくれるような、深くゆったりした知的経験が必要であると、私たちが信じているからです。そしてそれには、やはり心を揺さぶるような良質な読書が欠かせないと思うからです。

河合文化教育研究所は河合塾の付属研究機関です。1984年の研究所の設立以来31年間、多くの国際シンポジウムや講演会、公開講座、本の出版、教育界への提言など、社会にさまざまな発信をしてきました。

ここでは、日本の学界のみならず世界的にもトップクラスの学者の方々が、主任研究員として独自の研究に携わっています。また、河合塾講師が主宰する数多くの独創的な研究会もあり、これらの研究活動が河合文化教育研究所の基盤となっています。

『わたしが選んだこの一冊』は、河合文化教育研究所の主任研究員や河合塾の講師が、これまで自分の人生で大きな影響を受けた特別な本を選び出し、熱い思いを込めてみなさんにお届けするものです。

良い本とは、ある時代のある場所で著者がのっぴきならない形で世界に向き合い、実存をかけてその世界と格闘した道筋を表わしたものです。そうして書かれた本を、また別の時代の別の場所で自分の人生に深く受けとめた推薦者の先生方が、今度はみなさんにもぜひその読書を体験してほしいと願って紹介したのが、この冊子です。

本を読むことは、現実には出会わない他者と出会い、その世界を共有することによって、自分の中の知と感性を深く耕していくことです。同時に他者への共感と想像力を育むことによって、自分自身をいっそう豊かにおし拡げていくことです。

短い文章の中に書き手の思いが詰まったこの冊子を、ぜひ手に取って読んでいただければと思います。そのことによって、自分の生き方や世界についての新たな受けとめ方が身につくかもしれません。その上で、この冊子の中に推薦されている本のどれか一冊を読むことによって、さらにみなさんの人生に思いがけなく新しい地平が開かれていくかもしれません。読み方次第では、大きな可能性を秘めている冊子です。これを読んでぜひあなたの大事な一冊を探してください。